

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0301	政策名	子育て環境の充実	施策主管課	こども課	課長名	大川 尚子			
政策の目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます									
施策No	03	施策名	就学前教育の充実	関係課名						
施策の目指す姿	保育園、幼稚園、認定こども園から小学校へスムーズな接続ができています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園・幼稚園園舎の老朽化が進んでいます。 保育・教育ニーズや市内保育・教育施設入園者数に地域的偏りがあります。 生活様式が変化するなかで体を動かす機会や、同年代・地域の人々との交流機会が減少し、就学前児童の体力や運動能力、コミュニケーション能力が低下しています。 小学校入校後の環境に馴染めない子どもや相手の立場を思いやれない子どもが増加しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園・幼稚園舎について、適切に維持・管理する必要があります。 保育・幼児教育ニーズに対応した、公立保育園・幼稚園の配置のあり方を検討する必要があります。 就学前児童の体力や運動能力、コミュニケーション能力の向上を図る必要があります。 保育園、幼稚園、認定こども園及び小学校の連携を推進する必要があります。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 県の「保育者育成指標作成と研修体制の構築による幼児教育推進モデル指定研究事業」を活用して県教育委員会からの指導助言をいただき保育者育成指標を作成するとともに、指標に到達するための研修の内容やあり方を構築し、往還型の研修を取り入れるなどより効果的な研修の実施を目指す。 指導が終了しなかった子どもについては、小学校のことばの教室と連携し指導を継続する。また、言語聴覚士等による指導員への研修を実施し指導力の向上を図る。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 県の「幼児教育推進体制モデル指定研究事業」のモデル地区の指定を受け、保育者の育成を目的とした「花巻市公立園保育者育成指標」を作成し、指標に沿った研修体制の構築に着手した。 指導が終了しなかった子どもについては、就学後も引き続き指導が受けられるよう小学校の「ことばの教室」に指導内容の引継ぎを行った。また、言語聴覚士による指導員研修を実施し、指導力の向上を図った。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 保育・教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画に基づいた公立保育園・幼稚園の維持補修及び定期的な施設・設備点検、耐震補強工事(保育園3園)への着手 花巻市公立保育園再編第2期実施計画に基づく笹間保育園の民間への移管及び移管後の運営支援 保育・幼児教育の更なる充実と質の向上に向けた、公立保育園・幼稚園の適正配置を行うための指針の策定 私立幼稚園の入園料・保育料の無償化給付、預かり保育利用料補助の実施 <p>(2) 就学前教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内保育園・幼稚園・認定こども園・小学校への就学前教育の推進に関する情報提供 保育・教育の質の向上を図るための各種研修の実施、保育者育成指標の作成と研修体制の見直し 保幼小接続カリキュラムの実践等による保幼小の連携の推進 公立保育園における運動能力検査の実施 ことばの発音に課題がある子どもの早期発見と発達支援 地域人材を活用した体験活動等の取組 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04	
小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適切できていると捉えている学校の割合	保育園・幼稚園から小学校における「保幼小接続期のカリキュラム」を活用し保育・教育の成果を示す指標	出典：こども課 小学校1年生担任アンケート 問：身支度ができる、集団行動ができる、学習のルールがわかるか。	目標値	86.00	87.00	88.00	88.00	89.00	89.00	
			実績値	90.00	89.40	89.50				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適応できていると捉えている学校の割合」…【達成度c】 就学前教育プログラムに基づいた子どもの発達や学びの連続性を考慮した研究・研修を実施し、小学1年生の落ち着きが見られるなど着実に成果を上げてきていたが、令和2年3月の緊急事態宣言により小学校の休校措置が取られたことで学校現場が例年と違う対応を求められ、スタートカリキュラムの実施が難しかったことから、1年生の学校生活への適応状況を測ることができなかった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(はなまき保幼一体研修事業) 就学前教育の充実を図るためには職員の保育・教育力の底上げが必要であり、私立園とも連携して充実した研修体制を構築する必要がある。 (幼児ことばの教室事業) 障がいの重複により指導の継続が望ましい子どもが増えていることから、保護者のニーズに対応しながら指導を継続する必要がある。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園や幼稚園等の職員の資質の向上と保育・教育力の底上げを図るため、保育者育成指標をもとに、市の実態に即した研修体制を構築する必要がある。 ・ ことばの課題について、障がいの重複により指導の継続が望ましい子どもが増えていることから、保護者のニーズに対応しながら指導を継続するとともに、指導力の向上を図る必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私立園の意見をいただきながら保育者育成指標を適宜見直すとともに、保育者が主体的に学び、学びを保育に生かせるような研修体制の構築に向けた取り組みを進める。また、県の研究事業を活用した「幼児教育アドバイザー（仮称）」の配置及び活用方法を検討する。 ・ ことばの指導はマスクを外して行う場合もあるため、感染症対策に十分留意しながら指導を継続するとともに、保護者の就労等により通級が難しい子どもについては指導員が直接園に向いて指導を行うなど、就学前にことばの課題を解消できるよう支援する。また、専門研修等への参加により指導員の指導力向上を図る。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
010	はなまき保幼一体研修事業費 保育園・幼稚園・認定こども園職員を対象とした研修 (10回開催・延べ受講者139人)	こども課	一致	直結	B
	直結度 A				
020	幼児ことばの教室事業費 幼児を対象としたことばの検査及び指導の実施 (ことばの指導実施幼児数48人)	こども課	間接・少数	直結	C
	B				
030	幼稚園教育環境充実事業費 幼稚園就園奨励補助や私立幼稚園運営費補助、幼児教育無償化による給付費補助	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	C				
031	幼稚園教育環境充実事業費 公立幼稚園の教育環境整備 (花巻幼稚園・土沢幼稚園への空気清浄機設置)	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	C				
040	保育所保育環境充実事業費 公立保育園の施設環境整備 (成島保育園内装改修、遊具補修、湯口・太田・上瀬保育園耐震補強工事(石綿調査・設計・改修))	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	C				